

2025 年度秋季大会に向けて

2025 年度秋季大会は 10 月 28 日（火）～30 日（木）の 3 日間、九州大学医学部百年講堂において開催します。講演特集は、(1) 外場効果を利用した新たな創製技術と機能発現、(2) 磁性材料・磁気デバイスにおける微細構造制御と機能発現、(3) 硬質（工具）材料に関する新たな展開、(4) 粉体グリーンプロセスにおける環境・エネルギー関連材料及び技術の新展開、(5) 粉末積層 3D 造形に関わる材料および技術の最先端、(6) ナノスケール材料の設計と機能創出、(7) イオン伝導性材料の新展開、(8) AI 時代の電子部品材料開発の 8 テーマで行います。詳細につきましては、<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jspm2025a> をご覧ください。

九州大学での開催は 17 年ぶりです。当初は 2020 年度秋季大会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっていたため対面での開催を諦め、初めてのオンライン開催となりました。そこから 5 年、やっと九州大学で講演大会を開催することが出来ます。九州大学での開催を楽しみにして下さっていた皆様、お会いできることを楽しみにしています。また、実行委員をお引き受け頂いた皆様、お力添えを頂きありがとうございます。今回は、展示出展にも多くのお申込みを頂き、発表件数も 169 件あり賑やかな大会になると思います。まだ参加登録をされていない方は、ぜひご参加下さい。お待ちしております。

今回の秋季大会の直前には、APMA2025 が中国の青島で、1st KPMI-JSPM Symposium が韓国済州島で開催されます。KPMI-JSPM Symposium は、当会と韓国（KPMI）が粉末冶金に関する交流を図る目的をもって、交互に Symposium を開催していくもので、今回が第 1 回目になります。日本からは 2024 年度の論文賞を受賞された 3 名の方と尾崎由紀子会長が参加します。Symposium の日が当会の大会前日ですので、済州島から直接福岡にお入り頂くという慌ただしいスケジュールとなってしまいましたが、これも粉末冶金に関する講演が活発に行われている表れだと思います。次回 2nd KPMI-JSPM Symposium は日本側の開催となり、2026 年度春季大会（5 月 26 日～28 日（大阪大学））の期間中に開催することが決まっております。改めて案内を致しますので、こちらの Symposium もよろしくお願い致します。

さて、福岡といえば何を思い浮かべられますでしょうか。福岡の方言は大きく分けて「博多弁」「北九州弁」「筑後弁」「筑豊弁」の 4 種類もあるそうです、知っていましたか？4 種類も！！「～やけん」「～と？」など、皆様、いくつ聞き分けますでしょうか。「これ知っとお？」「うんにゃ（いいえ）」という会話を耳にするかもしれませんね。「そうだね」は「あーね」というそうですよ。懇親会の会場で福岡の方言を気にしてみるのも面白いのではないかと思います。

また、今回の開催地「馬出（まいだし）」は難読地名ですが、これは近くの筥崎宮の神輿が博多夷社（現在の東公園にある十日恵比寿神社）へ下向する時、筥崎宮から供奉（ぐぶ）の人が乗る馬を差し出したことに由来するとあります。この地名、読めましたか？

最後に、福岡には美味しいものがたくさんあります。懇親会会場は、那珂川と博多川に挟まれた中州での開催となります。中州には、玄界灘の新鮮な魚介類やもつ鍋、鶏の水炊き、ラーメンなど美味しい食べ物のお店がたくさんあることでも有名です。また九州では“鯖”が生で食べられます。「胡麻鯖」といい福岡県の郷土料理です。メニューにあれば、ぜひ食べてみてください。

最後に、今回の会場となる九州大学百年講堂は、ロビーは飲食が厳禁ですが、講演会場内は飲食可となっています。昼食をご持参の際は、各自ゴミのお持ち帰りをお願いします。その他、校内から地下鉄馬出九州大学前の道中にロイヤルホスト、タリーズコーヒーがあります。「九大病院正門」や地下鉄「馬出九州大学前」の周辺にも何件かお店がありますので、事前にご確認下さい。

（吉田 泰子）